

出生数、死亡数、婚姻・離婚件数等の前年比較（福岡県）

	実 数			率 1)		平均発 生間隔	
	平成19年	平成18年	対前年増減	平成19年	平成18年	平成19年	平成18年
						時 分 秒	時 分 秒
出 生	46,393	45,304	1,089	9.2	9.0	11' 20"	11' 36"
男	23,842	23,323	519	10.0	9.8	22' 03"	22' 32"
女	22,551	21,981	570	8.5	8.3	23' 18"	23' 54"
死 亡	43,919	43,270	649	8.8	8.6	11' 58"	12' 09"
男	22,780	22,728	52	9.6	9.6	23' 04"	23' 07"
女	21,139	20,542	597	8.0	7.8	24' 52"	25' 35"
(再掲) 乳児死亡	110	90	20	2.4	2.0	79 : 38' 11"	97 : 20' 00"
新生児死亡	54	46	8	1.2	1.0	162 : 13' 20"	190 : 26' 05"
自 然 増 加	2,474	2,034	440	0.5	0.4
死 産	1,451	1,495	-44	30.3	31.9	6 : 02' 14"	5 : 51' 34"
自然死産	534	505	29	11.2	10.8	16 : 24' 16"	17 : 20' 48"
人工死産	917	990	-73	19.2	21.2	9 : 33' 10"	8 : 50' 55"
周産期死亡	202	177	25	4.3	3.9	43 : 21' 59"	49 : 29' 29"
妊娠満22週以後の死産	157	143	14	3.4	3.1	55 : 47' 46"	61 : 15' 31"
早期新生児死亡	45	34	11	1.0	0.8	194 : 40' 00"	257 : 38' 49"
婚 姻	29,486	30,006	-520	5.9	6.0	17' 50"	17' 31"
離 婚	11,115	11,291	-176	2.22	2.25	47' 17"	46' 33"

	平成19年	平成18年
合計特殊出生率2)	1.34	1.30
年齢調整死亡率3) 男	5.8	6.0
女	2.9	3.0

- 注1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。
- 2) 合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
- 3) 年齢調整死亡率（人口千対）は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口）にあてはめて算出した指標である。